

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	光・視環境制御小委員会	主 査 名：吉澤 望 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (光環境運営委員会)	委員長名：大岡龍三 主 査 名：原 直也
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>光環境・視環境の制御に関連した設計・計画手法の検討および規準作成に関する WG 活動を取り纏め、WG 相互の情報交換や成果の情報発信を行う。</p> <p>初年度：各 WG の活動内容を確認し、相互の情報交換・情報交流を行う。</p> <p>2 年度：各 WG での活動成果に基づきシンポジウム等の企画・運営等を行う。</p> <p>3 年目以降の WG 活動方針について議論する。</p> <p>3 年度：各 WG の活動方針を整理し、相互の情報交換・情報交流を行う。</p> <p>4 年度：光・視環境制御・設計・計画・規準作成等に関する今後の活動方針等を取りまとめる。成果に関するシンポジウム等の企画・運営等を行う。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：吉澤望 (東京理科大学) 幹事：山口秀樹 (国土技術政策総合研究所) 委員：大江由起 (滋賀県立大学)、小林光 (東北大学)、櫻井将人 (静岡理科大学)、鈴木広隆 (神戸大学)、谷口景一郎 (東京大学)、宗方淳 (千葉大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>業務用建築物の開口部・昼光照明評価指標WG：日本建築学会環境基準 AIJES-L001-2010 に新たに業務用建物の開口部・昼光照明の評価・設計方法に関する記述を追加するにあたり、学術的な根拠について国内外の知見を整理する。</p> <p>住宅の開口部・昼光照明評価指標WG：日本建築学会環境基準 AIJES-L001-2010 の改定に向けて、住宅の開口部・昼光照明の評価・設計方法に関して、最新の知見の整理を行う。</p> <p>光と色の見え方制御WG：将来的に設計ガイドラインの制定などを検討すべき新しい光環境・視環境の制御方法について情報交換を行うとともに、現状の問題点やニーズの整理を行う。</p> <p>光環境シミュレーションWG：光・視環境制御手法の検討を進めるにあたっての要素技術である光環境のシミュレーション技術について、最新情報を収集するとともに、現状の問題点やニーズの整理を行う。</p>	
2023 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 各 WG の活動内容の確認と今後の方針について情報交換・議論を行った。 2. WG 活動が活発に行われた。

	<p><u>業務用建築物の開口部・昼光照明評価指標 WG</u> 全 5 回の合同 WG を開催し、AIJES-L001-2010 改定に向けて、業務用建物における規準に関する議論を進め、改定原稿における推奨値等に関する学術的根拠データの整理・確認を行った。</p> <p><u>住宅の開口部・昼光照明評価指標 WG</u> 全 5 回の合同 WG を開催し、AIJES-L001-2010 改定に向けて、住宅における規準に関する議論を進め、改定原稿における推奨値等に関する学術的根拠データの整理・確認を行った。</p> <p><u>光と色の見え方制御 WG</u> 活動を休止。</p> <p><u>光環境シミュレーション WG</u> 次年度の活動に向けて意見交換を行った。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	特になし